

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成17年(2005)11月18日発行

■発行人/中村安良 ■編集長/中村三之助
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091

No.13

課題の速やかな解決

大胆に一層の 行財政改革を

自由民主党京都市議員団は11月17日、「平成18年度京都市予算及び今後の京都市政方針に対する要望」をまとめ、榊本京都市長に提出しました。三期目の折り返し点を迎える榊本市政の最大与党会派として、市政運営に大きな責任をもつ立場から、「榊本マニフェスト」の中間総括とともに、今後2年間について事業の継承と発展を求めています。要望は「国家戦略としての京都創生について」など9分野・約30項目と各行政区別の約70項目にわたっています。

18年度予算で要望

「要望」はまず、「京都創生」の実現のためには、国及び国民、市民の理解と協力が不可欠であることを十分に留意し、一層の取り組みを進めることを求めるとともに、財政問題の地方自治体を取り巻く環境が大きく変化しているなか、市税収入は十五年前の水準に

も拘らず、人件費や扶助費など義務的経費は一・五倍近くに膨張しており、平成十三年の財政非常事態宣言から、職員数の適正化や事務事業の見直し等の市政改革が進められ、四年間で約六百四十五億円の財政効果が生み出されてきましたが、今より大胆な、一層の行財政改革推進を求めています。このほか職員の厚遇・職免問題、環境問題、少子高齢化問題、都市基盤整備や安心安全を基本とする治安・防災問題など山積する課題についても速やかな解決を求めています。総括的な概要は次の通りです。

一、京都の持つ歴史的、文化的な価値を活かすため、国家戦略としての京都創生の実現に積極的な取り組み、歴史都市京都にふさわしい景観の保全・創出、「京町家まちづくりファンド」を活用、京町家の保存・再生を図る。京都の景観にふさわしい風致地区での建築物や屋外広告物等の規制強化、電線の地中化推進。

二、市政改革については、職員削減を着実に進める。民営化、民間委託、PFI、指定管理者制度などの導入による行財政資源の有効活用を図る。外郭団体の見直しをさらに進め、大胆な統合を

行う。

三、地球温暖化防止・環境問題については、京都市地球温暖化対策を積極的に推進し、温暖化ガス

着実に「京都創生」実現へ

削減目標の確実な実現を目指す。ごみ減量に最大限努力し、有料指定ゴミ袋制導入には徹底的な説明責任を果たし、市民意見の聴取にも努める。

四、福祉の風土作りについては、改正された介護保険制度の趣旨に則り、予防重視型への転換、より地域に密着したサービスの創設など。障害者自立支援法が真に自立支援となるよう低所得者への配慮や就労の支援、円滑な実施。

五、子育て・教育については、保育所入所待機児・学童保育所待

機児童が生じないよう対策を講じ、多様な保育ニーズに応えられるよう延長保育や一時保育の充実を。また少子化の流れにストッパーをかけられるよう、家庭・職場・地域社会でそれぞれで子育てを支援し、子育ての充実に支え合っていく仕組み作り。豊かな人間を育成するため、野外教育活動の更なる充実、拡大、発展に取り組む。地震から学校の安全性を確保する。教員評価システムは教員一人ひとりの資質向上に繋がるものとして実施する。

六、産業と観光振興については、桂イノベーションパーク構想を推進、京都ナノテク事業創生クラスターの事業化推進。深草地域の疎水周辺環境の整備を行った上で、史跡や名勝を組み合わせた舟の運



18年度予算に対する「要望」を審議する自民党市会議員団

行を行う。

七、都市基盤の整備については、京都高速道路の建設と京都第二外環道路の整備促進。地下鉄東西線天神川・二条間の十九年度開通と工事費の削減を図る。都心部への自動車流入規制など交通政策の推進とともに、LRT導入の検討。堀川の改修と水環境の整備事業の推進。周辺部における下水道整備の早期事業化を図る。

八、安心・安全なまちづくりについては、災害時に市民の命の元の水を確保。台風や大雨による水害対策の充実。市民と連携し、市民防災活動の充実を図り、市民の防災に対する意識の高揚に努める。

九、その他として、老朽化の著しい市役所庁舎建て替えについては、柔軟な発想をもって早期に実現。区役所機能の一層の強化を図るとともに、区役所の総合庁舎化を推進。職員の厳格な運用を図り、ヤミ専従や黙免の根絶に努める。自転車総合計画や放置自転車対策条例の整備をし、府市協調のもと有効かつ実効性のある条例制定に取り組む。京北地域の活性化や食料自給率アップの為の利用計画を早期に着手する。

行政区も重要項目

各行政区別のおもな要望は次の通りです。

▽北区 深泥池の保全と活用。各道路の改良工事の早期推進など五項目。▽上京区 総合庁舎の建設整備に一層努める。西陣地域の「界隈観光」を進めるため駐車場整備など八項目。▽左京区 区役所庁舎の移転整備の早期実現。地域体育館の早期整備など九項目。

▽中京区 木屋町通り周辺の安心・安全対策の強化徹底と、景観を損ない、風紀の乱れを促進させる広告物や違法駐輪の対策強化など四項目。▽東山区 統合跡地の活用について、住民にとって有益な活用をする。JR東大路駅(仮称)設置の調査費など八項目。▽山科区 サルやイノシシなどによる農作物や市民に対する被害へ万全

の対策など五項目。▽下京区 梅小路公園の更なる有効利用、広域的な活性化対策の検討など三項目。▽南区 閉鎖中の銚立公園の早期供用開始。ごみの不法投棄や自動車の放置対策など六項目。▽右京区 地下鉄二条天神川間の開通及び右京区総合庁舎の開通にあわせ、住民の足確保のための調査研究、実行など七項目。▽西京区 地下鉄東西線の洛西・桂坂への延伸・開通など六項目。▽伏見区 総合区役所の新築整備に取り組みなど十項目。

代表質問 9月市会

九月京都定例会市会(9月12日、13日)は、九月十三日の本会議で自民党の北川明、津田大三両議員が代表質問、榎本頼兼市長ら京都市側に答弁を求めました。まず北川議員は▽組合員のヤミ専従▽サッカースタジアムの必要性と具体策▽観光客五千万人構想と嵐山・花灯路▽次世代の新型路面電車計画など十数項目、多岐にわたり質問いたしました。続いて津田議員は▽子育て支援▽伝統産業の活性化▽ゴミ減量問題▽市役所庁舎の建て替えについてなど八項目質問をおこないました。質疑の内容は次の通り。

京都の活性化へ積極的

サッカースタジアム 花灯路 LRT構想 組合専従は厳格に運用

北川 明議員 (西京区)

(交通局長の労働組合について)

支部長ダイヤなるものがあります。以前は全く勤務に就かず、ヤミ専従そのものでしたがやっとな職務に就くようになりました。然し、一日二回二時間から三時間のハン

ドル時分で超過勤務手当も支給されておられ、他の残余の時間は組合役員、または組合員として地方公営企業労働関係法及び労働関係調整法に規定する正当な行為を行っているかと管理者は断言できますか？また組合専従職員は、現在は七年、以前は五年の勤務で離職することになっていますが、京交や市職労、自治労にはこの規定をオーバーした専従職員がいました。彼等は離職せず、本来業務に就くこともなく退職し、退職金や年金が十全に支給されています。労使の癒着もよいところですか？

榎本頼兼市長 (答弁) 本市職員の組合活動に係わる職務専念義務の免除につきましては、基準が必ずしも明確であるとは言い難い状況にございました。このため、本年九月一日から、関係する規則を改正し、要綱を定めて、職務専念義務の免除の対象となる会議、回数、時間を限定し、これ以外は一切認めないほか、所属長の責任を明確にした厳正な労務管理を徹底



子らの夢の拠点になるサッカースタジアム(資料=千葉県フクダ電子アリーナ)

させるなど、抜本的な改革を実施したところであります。併せて、組合専従の取り扱いにつきましても、法令の趣旨に則った厳格な運用を図り、こうした方針を逸脱する者に対しては、厳しく対処してまいります。

梅小路公園など 候補地を提案

(サッカースタジアム)

北川明議員 (質問) 京都の子供達の夢は、パープルサンガがJ1の頂点であり続けることです。スタジアム建設の機運は盛り上がりつつあります。現在検討委員会で審議されている横大路運動公園は、交通のアクセスとして京阪電車に新駅が必要であり多額の建設費が必要です。駐車場の設置や道路輸送も大きな問題点であります。私は建設後の維持管理の経費や運営を考へるならば、横大路は不相当と考へますが、お考えをお尋ね致します。

候補地を二、三提案致します。ひとつは西京極運動公園です。ピッチ近くまで観客席を可動的にセリ出すと移動できるようなすれば、問近で選手との

- #### 北川明議員の質問項目
- ・30年永年在籍議員表彰のお礼
 - ・ヤミ専従問題への自民党の取り組みについて
 - ・職員の選考採用について
 - ・地下鉄の値上げについて
 - ・組合員のヤミ専従について
 - ・東西線の水漏れとIR交信(列車誘導無線)について
 - ・地下鉄経営の最終的展望について
 - ・京都の明日を築くための教育について
 - ・市立病院の今後の運営について
 - ・今後の整備内容と優秀な医師の確保について
 - ・パープルサンガのスタジアム建設の必要性と具体策
 - ・LRTに代表される新しい公共交通システムについて
 - ・和風迎賓館の運営について
 - ・国家戦略としての京都創生提言について
 - ・観光客5千万人構想、京都嵐山花灯路2005について
 - ・三大祭と観光振興について
 - ・本格的な高齢者時代の突入と京都市の高齢者に対するの施策について

「京都・花灯路」は毎年



今年12月、幽玄に花灯路でうかびあがらせる嵐山・渡月橋

化・発展と京都全体の観光振興のためにも、十二月の嵯峨・嵐山の風物詩として定着させ、毎年、継続開催が必要と考へますが市長のお考えをお尋ね致します。

より具体的な路線について検討することが必要と考へ、七路線のうち、北野白梅町と出町柳を結ぶ今出川線と四条通など市内中心部を巡る小環状線を選び、沿線住民の皆様を交えた議論や関係機関との調整など、様々な角度から検討を深めて参ります。

敬服致しております。平成十五年三月に、三十五万人を超えるサッカーファンからスタジアム建設の要望が出されたのを受け、市民の願いを実現するべく、取り組んで参りました。京都で唯一のプロサッカーチームの育成やサッカースタジアムの整備に関しては、スポーツの振興だけではなく、未来の京都を担う子供たちに大きな夢を与えるものであり、さらには、市民の一体感の醸成や経済への波及効果も含めて、京都全体の活性化にもつながる非常に重要な施策の一つであると考えております。年内には検討委員会として一定の取りまとめを行い、市会及び市民の皆様へ御報告させていただきたいと考えております。

新しい公共交通システムを検討

(LRTについて)

北川明議員 (質問) LRT(新型路面電車)が高齢者や環境に優しく、また、街のシンボル、新たな観光資源として、京都の魅力の創出に大いに貢献することは間違いないと考へます。市民や事業者等と十分かつ具体的な議論を尽くし、理解と協力を得ることこそが、実現への早道なのだと考へます。LRTに代表される新しい公共交通システムの導入について、お考えをお聞かせ下さい。

榎本頼兼市長 (答弁) LRTは、より具体的な路線について検討することが必要と考へ、七路線のうち、北野白梅町と出町柳を結ぶ今出川線と四条通など市内中心部を巡る小環状線を選び、沿線住民の皆様を交えた議論や関係機関との調整など、様々な角度から検討を深めて参ります。



建て替えの検討が急がれる老朽化した市役所庁舎

市庁舎建て替え検討

(市庁舎建て替えについて)

津田大三議員(質問) 市役所の建て替えについて質問します。この庁舎は昭和二年に建てられ、以後増改築を進め現在の形になっており、建物内部は複雑怪奇で、老朽化が進み庁舎としての十分な機能がありません。狭隘(きょうあい)な現実のため廊下に書類が山積みになり、消防法や個人情報保護

護法に違反しないかと心配です。また、多くの部署が近くのテナントを借りており、その賃借料は年間二億五千万円を超えています。パリアフリーには程遠く、さらには相当部分で耐震性が不足しており、危険です。しかも、この建物には府庁ほどの歴史的価値はないそうです。厳しい財源のもとでもPFI手法やPPPなどもあります。

時限をきるつもりぐらいの検討をして頂きたいと思いますが、いかがですか。
松井雄子副市長(答弁) 現庁舎は多くの今日の問題を抱えています。抜本的な解決のためには新庁舎が必要であります。新庁舎建設には四百億から五百億円という巨額の経費が必要で、現状では直ちに具体化できる状況ではありません。したがって、柔軟な検討を行い、新庁舎建設の準備に努めてまいります。

策でもあり、永年にわたり指摘してきたことでもあります。環境問題は全ての市民の意識改革が大切です。十分な説明とわかりやすい制度を実践頂き、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。いかがですか。
榎本頼兼市長(答弁) ゴミはライフスタイルの鏡であり、我が国は経済発展の中で多くの環境問題を引き起こして参りました。現在のライフスタイルを見直し、「循環型社会」「脱温暖化社会」への転換は今を生きる私たちの使命です。「京都市廃棄物減量等推進審議会」から出された有料指定袋制はゴミの減量や意識改革に有効である事がすでに実証されています。今回の答申を尊重し、本市の方針を早急にお示ししたいと思います。

少子化、伝統産業対策を

子育て風土づくり

伝統産業 正確な情報を提供

津田大三議員(中京区)

(子育て支援について)

津田大三議員(質問) 現在、我が国は人口の転換期を迎え、少子化対策は最も重要な課題であると思えます。その中で私が一番気になることは子育て支援のあり方です。親の責任を放棄せず事や安易なばら撒きの福祉では少子化は解決できません。子育てを支える、地域づくりと言いか風土づくりについてお聞かせ下さい。
榎本頼兼市長(答弁) 企業を含め、市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支えあい、子どもを産み育てる事に対し、確かな喜びを実感できるまちづくりを進めていく事が喫緊の課題となっております。

新しいプランにより新規施策を含め一層の拡充をまいります。また、京都には住民自治の伝統が息づいています。子育て支援につきましても、身近な地域の慣習や文化として根付かせてまいります。
(伝統産業について)

津田大三議員(質問) 現在、京都の伝統産業は社会情勢の変化や不況、また、一部の人の安易な金儲け主義により大変厳しい状況にあります。そのような中、本市会に「伝統産業活性化推進条例」が提案されました。今後、京都の素晴らしい伝統工芸品を安心して購入できるような正確な情報を提供する事や本物の伝統産業品に触れてもらう事が大切だと思います。今条例制定を機にどのような取り組みをされていくのかお伺いします。

榎本頼兼市長(答弁) 京都の伝統産業は日本の文化です。その文化を京都から発信するためにも伝統産業製品に触れていただく事は大変重要です。今後策定する「伝統産業活性化推進計画」で施設や事業で活用できるように具体策を盛り込んでいきます。また、「京もの」と言われる京都の伝統産業製品を偽装表示品と区別できる流通・生産履歴の仕組みづくりを業界

津田大三議員の質問項目

- ・子育て支援のあり方について
- ・京都「おやじの会」の取り組みについて
- ・伝統産業活性化の取り組みについて
- ・上下水処理場などの温暖化ガス削減について
- ・ごみ減量の取り組みについて
- ・屋外広告物に対する規制について
- ・違法駐輪・自転車マナー向上対策について
- ・本庁舎の建替えについて

市民の意見聞き

(ゴミ減量について)

津田大三議員(質問) 近年世界

と共に検討し、正確な情報提供ができるよう考えてまいります。

共通課題、意見を交換

自民党 市議団 世界歴史都市会議で訪韓

十月十八日から二十日まで韓国の慶州市で開催された「第九回世界歴史都市会議」に榎本市長はじめ市会議員の各会派代表ら(自民党市議団から十人)が参加しました。

この世界歴史都市会議は一九八七年に京都で初めて開かれ、翌年からほぼ二年おきに世界各地で開催されています。今回は十八カ国二十五都市から約二百人が参加し、「歴史都市の現在と未来―歴史都市の保存と再生―」というテーマで開催されました。

開会式は、同会議を主催する世界歴史都市連盟会長の榎本京都市

長が「紛争や環境破壊などの課題



会議に出席した榎本市長と自民議員団

た。その意味でもこの会議で、互いに情報交換、共同研究するなどしていくことは大いに意義あることと認識致しました。
なお、第十回大会は、二〇〇六年十月末にオーストラリアのパラット市で開催されることになりました。

井澤京子衆院議員と中西輝政教授が講演

自民党 市議団 サマーセミナー



講演する井澤京子氏

毎年恒例の「自民党京都市会議員団サマーセミナー」は八月三日に開催しました。講師はこのたびの衆議院議員選挙で比例区当選を果たした井澤京子氏(自民党京都府第六選挙区支部長)を招き、前職場での経験から「産業再生機構について」、また引き続き「日本の再生に求められるもの」として京都市立大学人間・環境学研究会の中西輝政教授から、国連改革と日本の国連安保理問題、中国の現状、憲法改正問題や第二次世界大戦に対する歴史認識のあり方など多岐にわたる話を聞かせていただくと共に座談会も行い有意義なサマーセミナーになりました。



1月から9年ぶり運賃表が書き換えられる乗車券売り場<市役所前駅>

九月市会は、十月十三日最終本会議で市営地下鉄の運賃値上げ条例改正案を賛成多数で可決。来年一月から九年ぶり、平均七・四%引き上げ、三キロメートルまでの初乗り料金は現行の二百円が二百十円に、その他の区間は一律二十円値上げとなります。

いま改定しなければ 将来、膨大な借金に

地下鉄値上げ案を可決

地下鉄の経営は、慢性的な赤字に陥っており、昨年度末の累積赤字は二千三百八十四億円です。運賃収入が一日約六千六百万円に対し、人件費をはじめ運行にかかる運営費が四千万円、建設費の利子など五千万円、元金相当三千万円の支払いがあり、一日五千五百万円の赤字を出しているのが現状です。

利便性の向上へ

こうしたなか、今回の値上げ案で自民党市議団は京都市また交通局に対し、集中的に質疑・審議を行い、今後の経営健全化の取り組みは当然のこと、値上げの緩和策として、小中高生の通学定期販売額を一年据え置く。また従来は期間限定だった一日乗車券を通年販売する(子どもカード新設も)など、より一層の利便性・サービスの向上を強く求め実現致しました。自民党市議会議員団は、市民の皆様に負担をかける事になりませんが、今回の値上げをしなければ、問題の先送りでは結果的に今後の京都を担う子や孫の世代に莫大な借金を背負わせることになり、これに反対することは、地下鉄事業の将来に対する、さらには京都の未来に対する本当の責任ある態度とは言えないと判断し値上げ案に賛成、可決した次第です。ただ今、市民の皆さんに対し、地下鉄の現状と将来の経営について充分に説明責任を果たしていくように強く求めております。

24人市民の期待になろう

自民党 市議会議員団



高橋泰一郎 (伏見区)



椋田知雄 (南区)



中村安良 (西京区)



北川 明 (西京区)



国枝克一郎 (上京区)



西脇尚一 (下京区)



青木ヨシオ (左京区)



富きくお (山科区)



内海貴夫 (東山区)



田中セツ子 (南区)



磯辺とし子 (東山区)



井上与一郎 (右京区)



川中増次郎 (山科区)



中村三之助 (上京区)



加地 浩 (北区)



橋村芳和 (伏見区)



小林正明 (北区)



加藤盛司 (中京区)



繁 隆夫 (伏見区)



寺田一博 (上京区)



津田大三 (中京区)



中川一雄 (伏見区)



田中英之 (右京区)



巻野 渡 (左京区)

議長

上京区補選 寺田一博氏が初当選

衆議院選立候補者の辞職に伴う京都市議会議員上京区補欠選挙は、9月11日に投開票され、自民党新人の寺田一博氏が共産党、無所属の両新人を圧倒的に破り初当選を果たしました。



市会本会議場の自民党議員席 (議長席より)

自民議員の所属委員会

委員長	常任委員会					市会運営委	特別委員会		
	財政総務	文教	厚生	建設消防	交通水道		普通	公営企業等	
副委員長	国枝克一郎	井上与一郎			加地 浩	北川 明	小林 正明		
自民党	国枝克一郎	磯辺とし子	川中増次郎	青木ヨシオ	加地 浩	加藤 盛司	青木ヨシオ	磯辺とし子	内海 貴夫
	中村三之助	井上与一郎	小林 正明	内海 貴夫	加藤 盛司	北川 明	井上与一郎	川中増次郎	加地 浩
	中村 安良	田中 英之	繁 隆夫	田中セツ子	北川 明	繁 隆夫	加藤 盛司	国枝克一郎	北川 明
	西脇 尚一	富 きくお	中川 一雄	津田 大三	高橋泰一郎	田中 英之	田中セツ子	小林 正明	高橋泰一郎
		橋村 芳和	椋田 知雄		寺田 一博	中川 一雄	津田 大三	繁 隆夫	田中 英之
					巻野 渡		中村三之助	富 きくお	寺田 一博
							西脇 尚一	中川 一雄	巻野 渡
						橋村 芳和	中村 安良	椋田 知雄	

* 運営委員会の北川議員、繁議員は理事
* 二特別委員会は予算特別委と決算特別委
* 普通特別委員会の委員左欄は第1分科会
右欄は第2分科会